

予想やられたる12・5最終審死刑判決 死刑阻止の大衆的力を結集しよう！

金大中氏に対する裁判は、11月3日のオランダ高等軍法会議における死刑判決に続け、早ければ12月10日に最終審大法院での判決が言い渡され、現在のところ死刑が確定し年内の処刑が充分考慮される情勢と見なし得る。

金子煥は16日、米紙記者との記者会見において、「(金大中氏は)有罪だと思つ」、「クーデター事の軍事行動にも比すべき行為だ」と断言し、同時に「韓国は政治的安定を回復した」と発言したことから、金大中氏への死刑執行をやり切る決意であると思われる。

また最近相次いで日一米両政府の「憂慮」表明がなされたり、カナダ下院での死刑反対決議が行なわれてゐるのは、すでに12・15死刑判決、年内処刑の情報を得る。

つかんでいるべき考え方である。日本政府は11月27日時点で突如「世論を鎮静化させる」旨の決定を下したこと、韓国内ではマスコミが連日「日本の圧力」を報道、反日感情をにくみに官制の集会等へと組織して判決時点での地盤固めを行つてることは、いずれ方きよう。

「さういふ、死刑を許すのか否か、金大中裁判は最終局面に突入した。これまでの2度の死刑判決が、弾圧の張本人である日本政府を糾弾し、搖り動かせなかつた日本人民の韓国民主化斗争連帯の弱々に原因していることを教訓とし、全京大の最大の力を結集させようではないか！」

I 金大中裁判の不当性

金大中氏の裁判における問題点は以下のよう一指摘される。第一、「自由」を強制するため、金大中氏および同時に逮捕された他の被告に対して激しい拷問が加えられていふことである。これについては、公判を通じて多くの被告が証言していくところである。ソウル大学復学生李信範氏は一審の最終陳述で「...私は2日間、わたくちが殴られ、皮長靴の底で指先を踏みにじられ、...」と、そのすさまじさを訴えている。このようにして、金大中氏が「内乱」「武裝蜂起」を準備する会合をもつたという「自由」がつくられ、証拠として採用された。

第二、起訴状には金大中氏に対する偏見と敵意がある。第一のことは、関連して見逃がすことのできないのは、時を同じくして日本国内でも中央公論、サンケイ新聞等で柴田穂（サンケイ新聞コラムニスト）によるキャンペーンが開始されることである。その内容は、例えば金大中が私生児であることを取り上げて、そのことが氏の人格を決定していくかのように論調で中傷を加えているのである。この記事は韓国の新聞紙上で一齊に報道され、攻撃の材料として用いられた。

第三、まことに「政治犯殺害」によって不平一付されているはずの日本での活動（韓民統結成準備、議長就任）に対する国家保守法が適用され、死刑判決が下っている点である。起訴状では「内乱と陰謀、煽動」といふ事実の記述が半分以上を占め、内乱陰謀が主題となつていて、そして韓民統結成など国家保守法違反についての部分は「背景説明」として述べられていうが、実際には、死刑が規定されているのは国家保守法違反者である」という視点からつぶさに合はれてはいるので

であり、内モ陰謀罪ではない。これも明らかに「政治結着」の反古であり、「背景説明」という言葉でのりえが行なわれている。これについて、「政治結着」時の約束は尊重されていると、日本政府は居直つたのだ。

オ四二一は、裁判においての強権的攻撃と抗撃があげられる。そこで「公判開始」、「これまで政治犯の弁護活動を続けてきた弁護士約20名が逮捕されており、多くの被辯士たちが信頼のおく私達弁護人を選任する」とが困難になつていた。当然国選弁護人との信頼関係などあらず苦もなく、裁判の形を整えるためだけの形式的弁護活動が行なわれた。過ぎない。その中で、金

大中氏らの公判は超スピードで行なわれ、しばしば被告相互の孤立をはかるため、分離して尋問が行なわれた。これに抗議して、金大中氏は検察側の尋問に応答を拒否するなどの抵抗を行なつた。

金大中氏への裁判、ついで、この他にも多くの問題を指摘し得るが、細かく法律解釈にまで立ち入つて述べることに行なわないと、一一一示しただけでも裁判の観点は明らかであるが、これは韓国で進められている不当な裁判というだけではなく、それを支え、金大中氏を抹殺しようとする日本政府の態度である。三審を目前にして、全ての日本人の行動が要請されている。

II 金大中氏への弾圧の背景

〈オ一期〉 74·10·20 - 12·12 朴射殺と『韓軍クーデター』

10月20日、朴は自らの腹心金載圭KCIA部長により射殺される。

この「宫廷革命」(金自身は後にそれを法廷で、民主回復国民革命と呼んでいる)の真の要因は、10月釜山、馬山の蜂起にまで高まつた韓国民衆の闘争であった。民衆の血は、馬山蜂起に対して「5万人殺しても良い」と怒りした独裁者の血によつてあがなわれた。

この金載圭の行動が、単に「引責辞任を恐れての計画化行」「韓國司令部共同捜査本部中間捜査結果」という個人的動機によるものではなく、より安定した政権、「反共防波堤」を望むアメリカの何らかの動き、を背景に、鄭昇和陸軍參謀總長等の軍上層部を含むクーデター計画であつたことは今や明らかである。それは、①事件後の米務省へいち早く「クーデター」と発表)、米政府、在韓米軍の動き②韓國政府の金載圭に対する処置、事実関係の発表が、誤射・KCIA部長の解任(27日)から「訂正」(28日)と変更され、など極めて曖昧であり、③元慰司令官となつた鄭昇和の事件当日の行動が極めて不自然、不明瞭であり、後に鄭自身が全斗煥により内閣ほう助罪で逮捕されたことなどから見てても明らかである。

独裁者の突如の死といふ形で端を発した危機がいかなる方向で、即ち徹底した民主化と統一か、更なる独裁と分断に收められるかは、その後の支配者と民衆の力闘争にいかつていた。そして、韓国民衆が起きた上がった。

(2)

12·6	27	24	10	11·3	10·26
崔圭夏大統領、金載圭KCIA部長にさり射殺する	臨時閣議、崔圭夏首相を大統領代行に任命。青州島を除く全土に非常戒厳令。鄭昇和陸軍參謀總長を戒嚴司令官に	朴射殺は金載圭らによる計画的犯行と発表	金大中、伊善善、成錦善、「民主義と民族統一へたゞく国共連合」声明	金承三新民党幹部、維新憲法下の大統領選に反対	崔圭夏大統領代行、特別請求の憲法による大統領選の後維大統領下の憲法改正④改正憲法下の大統領選等「やるやかな民主化」
延世大、ソウル大、民主化要求集会、全国各國民主化斗爭懇親會	Aが「第一主體国会議による大統領選出阻止国民大会」一千名出席行進陳要求、戒嚴會議長ら連席	民主勢力各団体、ソウルYWCAが「第一主體国会議による大統領選出阻止国民大会」一千名出席行進陳要求、戒嚴會議長ら連席			
崔圭夏、统一主體国会議と才					

独裁者の二心と其機に澎湃として巻き起る民衆の民主化・維新運動

一掃の闘い、「崔圭夏大統領」は、「やがてかな民主化」を表明する。

(11.10)が、一方でYWC事件・「南民戦」事件のように從來の弾

圧体制を温存しながら、民衆の下から動きへの弾圧を続ける。

更に重要なことは、この時期に、やがて5月に激突する二つの力が、

着々とその体制を整えつつあることである。全斗煥国軍保安司令官

と筆頭とする陸士11期生を中心とした軍部中堅タカ派組が、金圭圭の

クーデター計画の基盤であつたDC-1-Aを実質的に解体(11.3)。

更に、軍内部において、それ「同調ないしは動搖したと思われる軍昇和

らの講演をはかり、12.12の「わがる、前軍クーデター、ハナタリ、武

力を使って一挙にそれを成しとげる。全う、真正の維新政党勢力が、

全面的掌握へ向け、体制をかたどる。

その一方、学生は街頭闘争、政治への直接関与を控え、巧みに弾圧

を避けつつ、全国的に学園民主化・御用教授・維新建党一掃の統一し

た方針の下に、やはり當然としされ着々と力を蓄ええる。

〈オII期〉 12.12 - 80.4.14

全斗煥・実権掌握へ

維新憲法下の統一主体国民主義により大統領一選ばれた崔圭夏によ
り「やがてかな民主化」が一定進行する。学生の学園民主化闘争は更
に激化する。

朴体制下の政界民主勢力は、金大中らの国民連合、金泳三の新民党
の二つと柱に夫々活性化するが、崔・全体制を搖かず統一した力とは
成り得ず、ソウルの春の舞踏での様々な動き、評議会ともかかわらず
民主化の具体的な日程は進まない。

〈オIII期〉 80.4 - 5.27

激動期・全斗煥との対決・光州蜂起

4月14日、全斗煥はKC-A部長代行へ就任、実質政治の全権を握
る。一方、労働者の闘いも激化、各地で賃上げ要求のストから古砦、
暴動に到る。学生も「非常戒厳令の撤廃」を掲げ、全斗煥に打倒対象
を絞り、5月に入ると一挙に街頭に出、各地でアモ、機動隊と激突し
闘う。5.14～15には全国10万人の学生が市街戦を闘うに到る。
そうした学生の挙起を背景に、5月20日の臨時国会開催と前日、再
び政界野党・民主勢力の動きも同様。5月16日には、金大中と金泳
三(新民党)の会談が行なわれ、野党・在野勢力の共同闘争体制が再

(3)

5.27	5.28	5.29	5.30	5.31	5.32	5.33	5.34	5.35	5.36	5.37	5.38	5.39	5.40	5.41	5.42	5.43	5.44	5.45	5.46	5.47	5.48	5.49	5.50	5.51	5.52	5.53	5.54	5.55	5.56	5.57	5.58	5.59	5.60	5.61	5.62	5.63	5.64	5.65	5.66	5.67	5.68	5.69	5.70	5.71	5.72	5.73	5.74	5.75	5.76	5.77	5.78	5.79	5.80	5.81	5.82	5.83	5.84	5.85	5.86	5.87	5.88	5.89	5.90	5.91	5.92	5.93	5.94	5.95	5.96	5.97	5.98	5.99	5.100	5.101	5.102	5.103	5.104	5.105	5.106	5.107	5.108	5.109	5.110	5.111	5.112	5.113	5.114	5.115	5.116	5.117	5.118	5.119	5.120	5.121	5.122	5.123	5.124	5.125	5.126	5.127	5.128	5.129	5.130	5.131	5.132	5.133	5.134	5.135	5.136	5.137	5.138	5.139	5.140	5.141	5.142	5.143	5.144	5.145	5.146	5.147	5.148	5.149	5.150	5.151	5.152	5.153	5.154	5.155	5.156	5.157	5.158	5.159	5.160	5.161	5.162	5.163	5.164	5.165	5.166	5.167	5.168	5.169	5.170	5.171	5.172	5.173	5.174	5.175	5.176	5.177	5.178	5.179	5.180	5.181	5.182	5.183	5.184	5.185	5.186	5.187	5.188	5.189	5.190	5.191	5.192	5.193	5.194	5.195	5.196	5.197	5.198	5.199	5.200	5.201	5.202	5.203	5.204	5.205	5.206	5.207	5.208	5.209	5.210	5.211	5.212	5.213	5.214	5.215	5.216	5.217	5.218	5.219	5.220	5.221	5.222	5.223	5.224	5.225	5.226	5.227	5.228	5.229	5.230	5.231	5.232	5.233	5.234	5.235	5.236	5.237	5.238	5.239	5.240	5.241	5.242	5.243	5.244	5.245	5.246	5.247	5.248	5.249	5.250	5.251	5.252	5.253	5.254	5.255	5.256	5.257	5.258	5.259	5.260	5.261	5.262	5.263	5.264	5.265	5.266	5.267	5.268	5.269	5.270	5.271	5.272	5.273	5.274	5.275	5.276	5.277	5.278	5.279	5.280	5.281	5.282	5.283	5.284	5.285	5.286	5.287	5.288	5.289	5.290	5.291	5.292	5.293	5.294	5.295	5.296	5.297	5.298	5.299	5.300	5.301	5.302	5.303	5.304	5.305	5.306	5.307	5.308	5.309	5.310	5.311	5.312	5.313	5.314	5.315	5.316	5.317	5.318	5.319	5.320	5.321	5.322	5.323	5.324	5.325	5.326	5.327	5.328	5.329	5.330	5.331	5.332	5.333	5.334	5.335	5.336	5.337	5.338	5.339	5.340	5.341	5.342	5.343	5.344	5.345	5.346	5.347	5.348	5.349	5.350	5.351	5.352	5.353	5.354	5.355	5.356	5.357	5.358	5.359	5.360	5.361	5.362	5.363	5.364	5.365	5.366	5.367	5.368	5.369	5.370	5.371	5.372	5.373	5.374	5.375	5.376	5.377	5.378	5.379	5.380	5.381	5.382	5.383	5.384	5.385	5.386	5.387	5.388	5.389	5.390	5.391	5.392	5.393	5.394	5.395	5.396	5.397	5.398	5.399	5.400	5.401	5.402	5.403	5.404	5.405	5.406	5.407	5.408	5.409	5.410	5.411	5.412	5.413	5.414	5.415	5.416	5.417	5.418	5.419	5.420	5.421	5.422	5.423	5.424	5.425	5.426	5.427	5.428	5.429	5.430	5.431	5.432	5.433	5.434	5.435	5.436	5.437	5.438	5.439	5.440	5.441	5.442	5.443	5.444	5.445	5.446	5.447	5.448	5.449	5.450	5.451	5.452	5.453	5.454	5.455	5.456	5.457	5.458	5.459	5.460	5.461	5.462	5.463	5.464	5.465	5.466	5.467	5.468	5.469	5.470	5.471	5.472	5.473	5.474	5.475	5.476	5.477	5.478	5.479	5.480	5.481	5.482	5.483	5.484	5.485	5.486	5.487	5.488	5.489	5.490	5.491	5.492	5.493	5.494	5.495	5.496	5.497	5.498	5.499	5.500	5.501	5.502	5.503	5.504	5.505	5.506	5.507	5.508	5.509	5.510	5.511	5.512	5.513	5.514	5.515	5.516	5.517	5.518	5.519	5.520	5.521	5.522	5.523	5.524	5.525	5.526	5.527	5.528	5.529	5.530	5.531	5.532	5.533	5.534	5.535	5.536	5.537	5.538	5.539	5.540	5.541	5.542	5.543	5.544	5.545	5.546	5.547	5.548	5.549	5.550	5.551	5.552	5.553	5.554	5.555	5.556	5.557	5.558	5.559	5.560	5.561	5.562	5.563	5.564	5.565	5.566	5.567	5.568	5.569	5.570	5.571	5.572	5.573	5.574	5.575	5.576	5.577	5.578	5.579	5.580	5.581	5.582	5.583	5.584	5.585	5.586	5.587	5.588	5.589	5.590	5.591	5.592	5.593	5.594	5.595	5.596	5.597	5.598	5.599	5.600	5.601	5.602	5.603	5.604	5.605	5.606	5.607	5.608	5.609	5.610	5.611	5.612	5.613	5.614	5.615	5.616	5.617	5.618	5.619	5.620	5.621	5.622	5.623	5.624	5.625	5.626	5.627	5.628	5.629	5.630	5.631	5.632	5.633	5.634	5.635	5.636	5.637	5.638	5.639	5.640	5.641	5.642	5.643	5.644	5.645	5.646	5.647	5.648	5.649	5.650	5.651	5.652	5.653	5.654	5.655	5.656	5.657	5.658	5.659	5.660	5.661	5.662	5.663	5.664	5.665	5.666	5.667	5.668	5.669	5.670	5.671	5.672	5.673	5.674	5.675	5.676	5.677	5.678	5.679	5.680	5.681	5.682	5.683	5.684	5.685	5.686	5.687	5.688	5.689	5.690	5.691	5.692	5.693	5.694	5.695	5.696	5.697	5.698	5.699	5.700	5.701	5.702	5.703	5.704	5.705	5.706	5.707	5.708	5.709	5.710	5.711	5.712	5.713	5.714	5.715	5.716	5.717	5.718	5.719	5.720	5.721	5.722	5.723	5.724	5.725	5.726	5.727	5.728	5.729	5.730	5.731	5.732	5.733	5.734	5.735	5.736	5.737	5.738	5.739	5.740	5.741	5.742	5.743	5.744	5.745	5.746	5.747	5.748	5.749	5.750	5.751	5.752	5.753	5.754	5.755	5.756	5.757	5.758	5.759	5.760	5.761	5.762	5.763	5.764	5.765	5.766	5.767	5.768	5.769	5.770	5.771	5.772	5.773	5.774	5.775	5.776	5.777	5.778	5.779	5.780	5.781	5.782	5.783	5.784	5.785	5.786	5.787	5.788	5.789	5.790	5.791	5.792	5.793	5.794	5.795	5.796	5.797	5.798	5.799	5.800	5.801	5.802	5.803	5.804	5.805	5.806	5.807	5.808	5.809	5.810	5.811	5.812	5.813	5.814	5.815	5.816	5.817	5.818	5.819	5.820	5.821	5.822	5.823	5.824	5.825	5.826	5.827	5.828	5.829	5.830	5.831	5.832	5.833	5.834	5.835	5.836	5.837	5.838	5.839	5.840	5.841	5.842	5.843	5.844	5.845	5.846	5.847	5.848	5.849	5.850	5.851	5.852	5.853	5.854	5.855	5.856	5.857	5.858	5.859	5.860	5.861	5.862	5.863	5.864	5.865	5.866	5.867	5.868	5.869	5.870	5.871	5.872	5.873	5.874	5.875	5.876	5.877	5.878	5.879	5.880	5.881	5.882	5.883	5.884	5.885	5.886	5.887	5.888	5.889	5.890	5.891	5.892	5.893	5.894	5.895	5.896	5.897	5.898	5.899	5.900	5.901	5.902	5.903	5.904	5.905	5.906	5.907	5.908	5.909	5.910	5.911	5.912	5.913	5.914	5.915	5.916	5.917	5.918	5.919	5.920	5.921	5.922	5.923	5.924	5.925	5.926	5.927	5.928	5.929	5.930	5.931	5.932	5.933	5.934	5.935	5.936	5.937	5.938	5.939	5.940	5.941	5.942	5.943	5.944	5.945	5.946	5.947	5.948	5.949	5.950	5.951	5.952	5.953	5.954	5.955	5.956	5.957	5.958	5.959	5.960	5.961	5.962	5.963	5.964	5.965	5.966	5.967	5.968	5.969	5.970	5.971	5.972	5.973	5.974	5.975	5.976	5.977	5.978	5.979	5.980	5.981	5.982	5.983	5.984	5.985	5.986	5.987	5.988	5.9

びつくりが、がらがら、「殴られた。」そうした中で、15日、政府は「政治工程の練り上げ」等の讓歩を行ない、学生も15日をもってデモを中心止、5・16には両勢力が對峙する。その矢先に、全のクーデターが敢行され、光州武裝蜂起してその彈圧をもって、全の独裁体制への布陣がひがれる。

〈オバ期〉 5・27～現在

反動期

民主化か、軍事独裁の維持かの一戦で斗われた光州民衆20万人の蜂起は、韓国民主化斗争が最終段階にはいつにも表わしている。民衆は銃口を向ける國軍の眞の姿を見抜き、多數の犠牲を出しながらも民衆は武器をもって戦い抜いた。

全斗煥は、まず「うしに、民衆の敵」としての本性をさらけ出して事態の收拾と政権の掌握を行なうことを得なかつた。

まず、12・12「陸軍クーデター」グループを中心に、いわば臨時政府的質のとして「國家保衛非常対策委員会」設置を発表（5・27）その常任委員会は3人の若手軍人を中心とするメンバー30人で構成、軍による本格的支配体制整備に着手する。同時に、刷新のイメージ作りと、政敵や反政府的な活動の根絶をめざして活発な活動を開始。「社会淨化運動」「不正蓄財者一掃運動」「腐敗企業追及運動」「工場セマウル運動」などを、6月以来かんに展開する。民衆の目をそらせるため、本質的には社会矛盾の表われである「街のぐれん隊」「狩りなどを行なう。同時平行的に言論、出版界、行政官庁における反全斗煥的部分の肃清断行していく。危機の中にある支配権力が行なう、いづらの狡猾なやり方である。また、企業經營合理化に労働者自身を参加させる「セマウル」は、經濟危機を労働者へしわ寄せすることを狙つてゐる。政権掌握を目指す全斗煥の体制固めとしてこの時期を特徴付けておる。

續く流動的状況

5・27の軍隊の光州市への突入と武力制圧以後も戦いは続いた。少なくとも同じ全羅南道にある港湾都市木浦では27・28日、弾圧に抗議するデモが大規模で斗われた。光州弾圧に参加した軍隊の一部が木浦へ急派され全土での整備は強化された。ソウルでは一人の学生が全斗煥糾弾のビラを数百枚まで逮捕される。民衆の怒りが起き、オフの光州がいつ斗われるかわからぬ。さらに、國軍オフ期生としての若手軍人全斗煥は、支配層内部に、いつ現われるところ知れぬ敵を多く持つていた。

(4)

28	31	29	30	31	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
木浦の光州弾圧抗議でモダニズム 議院、光州市なら戦車数両移動 (5月以来金大中氏らの釋放要求 して3万人規模のデモ結く) 金大中氏に対する「報告書」発 表、「大慶、容安」とレーテル 金利引下げ、 通貨供与量の増大など)	雀圭夏、新内閣閣足後の初の閣 議で景氣差措策発表(企業の資 本融資のための金利引下げ、 通貨供与量の増大など)	米政府首脳、对韓政策協議 当局、「五一」日の木浦での學 生デモ收拾」と発表	「国家保衛非常対策委」常任委員 長に全斗煥 戒厳司令部コミッテー発表、金 大中氏を光州蜂起の責任者とし て非難	米、対韓善報につい、「安全保 障を優先」と発表	「保衛委」常任委の基本方針で 政治活動を厳しく規制し発表 「一連の學生デモ、労働運動、 光州の指導者、不正蓄財者」3 千人を公開指名手配	KCAの構造を大幅に改編、 幹部クラス職員300人を解任 KCAの構造を大幅に改編、 幹部クラス職員300人を解任 「宣伝合同」の輸入促進 米、英、西独、仏、伊など 田口高吉井社長(20人) 1ペリ、(20人)	通産省、「宣伝合同」の輸入促進 ミンハヨン田口(采選)(田長)、植 田口高吉井社長(20人) 1ペリ、(20人)	金丸信天防衛厅長官訪韓、全斗 煥と会見 雀圭夏、大統領を辞任 米、「全斗煥の大統領就任に反 対せず」と表明	金大中氏ら2名の「国民連合」 メンバーを起訴	瓦官房副長官「日暮閣係重視は 変わらぬ」と表明	金大中氏ら2名に対する普通軍 法会議、初公判	金大信、日韓定期閣僚会議の早 期開催を籠不首相に要請、 全斗煥、大統領に就任	韓国練習艦隊、12月に日本寄港、 軍事的交流を実施と発表 (来年春中に自衛艦隊の訪韓も 計画)	5・27の軍隊の光州市への突入と武力制圧以後も戦いは続いた。少 なくとも同じ全羅南道にある港湾都市木浦では27・28日、弾圧に抗議 するデモが大規模で斗われた。光州弾圧に参加した軍隊の一部が 木浦へ急派され全土での整備は強化された。ソウルでは一人の学生が 全斗煥糾弾のビラを数百枚まで逮捕される。民衆の怒りが起き、 オフの光州がいつ斗われるかわからぬ。さらに、國軍オフ期生とし ての若手軍人全斗煥は、支配層内部に、いつ現われるところ知れぬ敵 を多く持つていた。																		

こうした流動的状況を経験する中で、ます何よりも、韓国民衆の眞の意士心を見せつけた光州の真摯と全国化させた一体制と組み、社会の諸組織に於て、一へど一へど政府批判が起つてくるかわからぬい不確実な要素など／＼とく捕みとくつゝとしていた。

背後で支援した田・米西政府

「金子はおまへだ。」

韓國全士——
期——、日本政府は前田特使を派遣、朴東鎮外相と会談し「事態收拾」を求める光州弾圧にナーサイーンを送った。また兵の弾圧の直後の28日、彼は全斗煥との正式会談を各国に先がけて行なつてはいる。また米国政府は、光州弾圧に軍事的支援を行なうと共に、当時の大統領カーターが6月1日、「われは人権問題などではない。これは東ニアジアに安定を実現し、維持しようとする米国の国益の問題」として全斗煥を支持した。更に通産省は、7月9日から10日間、官民の輸入促進ミニョンを大挙派遣、并間30億ドルの対日赤字の解消と輸出不振の韓國経済テコ入れを約束する。8月末丸信元防衛庁長官の訪韓とテコとした日韓議員連盟活動再開と安保関係の強化をめざす。……例を上げれば枚挙にいとまがない。

これらの動きが全斗縫を大いに勇気づけ、民衆が血を流して聞いと
こうとしている民主化・統一を妨害する決定的要素になつてゐる」と
は明らかだ。そして、徐々に力を蓄えてきた全斗縫軍事独裁は、9月
1日の大統領就任、10月22日の新憲法国民党禁革執行へと分配体制を強
め、民主化闘争圧迫へ、無数の人々を獄中で禁錮しようとしている。

その一環としての金大中氏抹殺攻撃

・全斗煥は大統領就任と合わせて、「光州事件を煽動した175人を起訴」と発表(9・5)、「南朝鮮民主共和国メテカル事件」の控訴審判決で2名の死刑を含む他71名に無期~8ヶ月の重刑を宣告(9・5)させしめ的
な弾圧を加えていた。

合わせて、8月—9月、金大中氏ら「民主主義と民族統一」のための「国民連合」メンバーを起訴、死刑・重刑判決を下した。これは、5月の決算年賀で「ラスティック」へ展開する学生の間に、対応して、民主化のための一の具体的な組織としてあつた「国民連合」解体とメンバーの政治生命と永遠に奪はうとするものと言える。特に、金大中氏は韓国民衆の民主化への希望を託された重要なリーダーの一人である。

が故に、光州蜂起への報復を込めて全斗煥一派がハサウエーとしている
「ことの意義は、重大だ」。

思ひ立つた機知

全斗煥の「社会は安定した」とする宣言にいかがわらず、いまが継続する軍の威戒体制の下での微妙な均衡を打破るかのように韓国学生達は偽裝的「国民警衛」(10.22)に前後して、全斗煥の「体制固め」に着実に反撃している。特に、一の中で高麗大の學生達は「全斗煥打倒日本帝國主義者退散」を掲げて日本政府の全斗煥テロ入れを暴露している。

17) 延世大(10.30. 11.18)、淑明女子大(11.4)など、多くの學生達は偽裝的「国民警衛」(10.22)に前後して、全斗煥の「体制固め」に着実に反撃している。特に、一の中で高麗大の學生達は「全斗煥打倒日本帝國主義者退散」を掲げて日本政府の全斗煥テロ入れを暴露している。

米朝韓起義碑庄してよやく成立してこの全斗煥政権に対する評議は、ハサウエーへ入るし、ガスリーの日、米国駐國主義に対する抗議、すなはち「反外勢」のペロードーと結合され、正しく暴露されている。韓国民衆の前に「敵」として登場した、「北の脅威」が口実に被り、民族の本性を裏かぶた現在、韓国民衆の打倒すべきものでしかないとが明らかになった。10年にケーダラーを行なった朴正熙と遡って、「韓國慶祝成長」などの、民衆を偽裝する偽裝的暴露もむかづく全斗煥は、必ず其の集田舎な暴露が彼士へ行くばかり。

金大中氏の生命のことを考えれば、われわれの嘆きは豈きものか。彼の子が国民の信頼と尊敬をかう得る人である。数々の苦難に耐え、此族の榮光ある未来のために、その生命を捧げ、ソトナニと転じて来た彼が、ついて暴力の前に服従の意志のかなか。それが立とつて無びれば強制するかとのだけがたの露骨である。

韓國「政治風土刷新委員会」 ハサウエー人の政治活動をたゞら 年間禁止と發表	16
金斗煥、米紙との会見で金大中 氏を「有罪」と断言 ノウル延せ大反政府政治集会 金大中は裁判、大法院に上告理 由書を提出	17